

夏休み中のSGH活動レポート④

SGH東京フィールドワーク

2016年8月12日(金)、東京において**附属中3年生の希望者約60名**の生徒が、「グローバル探究プログラム」の一環でフィールドワークを行いました。

平和祈念展示資料館 (総務省委託) 東京都新宿区西新宿 (新宿住友ビル 48階)



施設見学をした後、引揚体験者の石井章さんのお話を伺いました。戦争の悲惨さと終戦後もつらく、苦しい生活を強いられたお話に平和の大切さを改めて考えさせられました。

東京海洋大学のマリンサイエンスミュージアム 東京都港区港南 (品川キャンパス)



SGH で本校と連携している東京海洋大学の施設を見学しました。海洋生物の貴重な展示資料や鯨ギャラリーでの骨格標本など、見応えがありました。登録有形文化財「雲鷹丸」も見学しました。

ユニセフハウス (日本ユニセフ協会) 東京都港区高輪



ユニセフハウスでは、世界の子どもたちへの支援について、施設の方の説明を聞いて学習しました。世界に目を向けると、私たちと同じような生活をすべての子どもたちが決めているわけではないことを再認識しました。

＜参加者の感想＞

(訪問先からは、本通信および HP 掲載の許可を得ています)

- ・ 平和祈念展示資料館では、引揚経験者のお話を聞き、戦争の恐ろしさを実感しました。(清水唯さん)
- ・ 過去のつらい戦争の歴史を学び、世界の様々な環境で暮らす子供たちに目を向けることで、平和な日本に住む私たちが、今、何をすべきかを考える良い機会となりました。(須藤 彩さん)
- ・ 戦争が終わっても強制的に働かされたり、日本に帰れなかった人たちがたくさんいたりしたこと、世界には まだたくさんの方が助けを必要としていることなど、初めて知ることばかりでした。(佐藤萌笑さん)
- ・ 戦争は怖い。だからこそ、忘れてはならないものだと思います。東京海洋大では疑問に思ったことを大学生に質問することができ、理解を深めることができました。(岩崎実莉さん)
- ・ シベリア抑留について学び、戦争の悲惨さを知りました。(吉田紅介君)